|  |
| --- |
|  |

目次

[1 サプライヤ用労働安全衛生基準 4](#_Toc365274009)

[2 エリクソンのOHS基準 5](#_Toc365274010)

[3 エリクソンの特定OHS基準 6](#_Toc365274011)

[4 変更情報 6](#_Toc365274012)

|  |
| --- |
| © Ericsson AB 2012 All rights reserved.本文書の情報はエリクソンの所有物であり、予告なく変更されることがあります。エリクソンは、事実に関する誤りまたは誤字について、何ら責任を負うものではありません。 |

エリクソン一般サプライヤ用労働安全衛生基準

エリクソンは、安全衛生に対するグループ規模での統合アプローチにより、すべての人に安全で衛生的な作業環境を整備するよう努めています。

世界の全従業員に安全かつ衛生的な作業環境を提供することを約束し、その実現に真剣に取り組んでいます。エリクソンのサプライヤとその従業員もその対象です。

エリクソンは、すべてのサプライヤに対し、基本的人権、労働安全衛生基準、環境管理、ならびに職場の汚職防止などの分野の要件を記した行動規範を発行しています。この文書では、サプライヤに求められる労働安全衛生（OHS）要件について説明します。サプライチェーンのOHSパフォーマンスは、サプライヤの監査と査定を通じて評価されます。

エリクソンはサプライヤからの情報を重視しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

エリクソンの行動規範およびサプライヤのOHS要件は、以下のサイトをご覧ください。

<http://www.ericsson.com/responsible_sourcing>

# サプライヤ用労働安全衛生基準

エリクソンでは、サプライヤのOHS管理システムに以下の最小基準を設けています。

OHSポリシー：サプライヤは、OHSポリシーを作成する。ポリシーは、サプライヤのOHSリスクの性質と規模に即し、怪我と病気の防止、および継続的改善への努力を約束するものとする。

**リスク評価：**サプライヤは、そのOHSリスクを特定および文書化し、それに関わる管理方法を決定する。

**管理システム：**サプライヤは、その管理システムでOHSに関する側面を考慮する。

**改善プログラム：**サプライヤは、目標と実行計画を含むOHS改善プログラムを用意する。

**法令：**サプライヤは、該当するOHS法令および規則を順守する。

矛盾が生じる場合は、現地の法令および規則が、常にエリクソンの基準に優先する。

**資格：**サプライヤは、全従業員が、指定された作業を行う資格を持ち、適切な教育と訓練を受け、適切な経験を有するようにする。

**報告と調査：**サプライヤは、是正措置のプロセスを含む適切な事故報告および調査手順を用意する。

# エリクソンのOHS基準

サプライヤのOHS管理システムは、当該箇所で以下に示すエリクソングループのOHS業務基準を満たすか、またはそれを超えることを最小要件とします。

* 化学物質の取扱い
* 登攀と高所作業
* 建設作業と土木工事の管理
* 運転者と車両の安全
* 環境騒音と業務騒音
* 無線周波電磁界への曝露
* 防火
* 単独作業
* 手作業による処理
* 個人防護具（PPE）
* 電気を使用する作業

サプライヤは、合意した範囲の作業開始に先立ち、該当するエリクソンのサプライヤ用OHS基準を特定します。

エリクソンのOHS基準は、エリクソンによりいつでも変更される場合があります。エリクソンのOHS基準の改訂は、エリクソンとの書面による別段の合意がない限り、公開日より適用されます。サプライヤが、該当範囲の作業の実行能力に重大な影響を与えるエリクソンのOHS基準の変更を特定した場合には、エリクソンとサプライヤは、合理的な行為による話合いの上で、その変更を行う方法、意味、およびスケジュールについて合意します。

# エリクソンの特定OHS基準

特定労働安全衛生（OHS）基準は、建設作業のサプライヤ、現場保守およびネットワーク展開サービス、および契約により本文書に拘束されるその他すべてのサプライヤに強制的に適用されます。この基準は、その他すべてのサプライヤに推奨されます。

# 変更情報

|  |  |
| --- | --- |
| **リビジョン** | **説明** |
| A | 初版 |
| B | 正式変更 |